

8月 議員月間リレー日記

●山本 均

この夏の猛暑にはホトホト参った。エアコンがないので寝苦しく夜中、何度も目が覚める。ベッドから廊下へ、さらに座敷へと安眠を求めてさまざま始末。

この一週間は「議会だより」のまとめが主な活動となった。

1日(水)

午前中は委託先から送られてきた本紙の第2稿を読み込み、変更・修正部分をTELにて連絡。

午後遅く議会議務局へ出向き、「表紙は語る」の部分コピーし、関係者に手渡し内容の確認を求め。

2日(木)

午前10時過ぎ関係者からTELがあり、「表紙

は語る」の一部に疑問あり、と。では検討を、と。

本紙の議員視察の記事をチェックし、修正。

午後3時半、委託先へTELし、修正力所を伝える。



3日(金)

午前10時、事務局へTELし、議員視察の記事の修正力所の直しを確認。

事務局へ赴きパソコンから第3稿を引出してもらう。「表紙は語る」の修正部分を関係者に再チェックを要請。

午後から自宅で第3稿

を精読。誤りを数力所発見する。

夕方、事務局へ行き、委託先に修正力所を伝える。その後修正済の第4稿を事務局員に引出してもらう。自宅に戻り精読する。

4日(土)

昨日の第4稿を念入りにチェック。関係者の来訪を受け、「表紙は語る」の修正分を見てもらいた了承を得る。

夕方、役場へ。事務局員がいたので第4稿を編集委員4人分のコピーと通知文の作成を依頼。

出来た書類を各編集委員に届ける。

5日(日)

きょうは終日読書。一体、戦前の帝国議会はいつ消えたのか、気になっていた。そこで中村隆英の「昭和史・上」。

戦時中、議会はずっと

あったことが判明。鍵は昭和13年成立の「国家総動員法」。これで政府は

一枚の通達で何でもでき、議会は御用済。

結果、国家存亡の危機になったというわけ。私たちはこのことを忘れてはいけない。

6日(月)

本紙の第4稿を加筆・修正し、委託先に渡す分をまとめる。役場始業前に事務局へ届ける。

9時半、委託先へTELし、出来上がりを訊く。午後4時半、事務局へ顔を出し、本紙を打出してもらう。変更力所をチェックし、決定稿として、ゴーサインを出す。

7日(火)

議長にTELして次回の本紙の作成の相談。決算特別委員会があるので掲載分量が増す。このための補正予算を要請。

●森田 一

8日(水)曇り

台風13号の接近で朝から風が強く、若郷村内は強風で巻き上がった小砂と海水が混ざり、上空で白く渦を巻いていた。

夕方の5時半頃、若郷地域だけが停電となり、8時過ぎにやっと回復。

夕飯時の2時間半の停電は各家庭に電気の有難さと「非常時の備え」の大切さを再認識させたのではないか。



9日(木)晴れ

台風13号は今朝早く房総半島沖を通過し、本州への上陸はなかった。

幸いにして、新島村に

は雨、風による大きな被害はなかったようだ。

台風避難していたにしきも夕方には帰港したと村内放送があった。

10日(金) 晴れ

毎日記録的な暑さが続いており、今日の暑さも半端ではなかった。

東海汽船は台風13号の影響で8日、9日と全面欠航したが、今日は全面就航したようである。

私は朝のジェット船で帰省する娘を黒根港に出迎えたが、多くの帰省客が降り立つ。

11日(土) 晴れ

今日は朝から妙蓮寺の総代三人でお盆の飾りつけや各行事の準備に取り掛かった。

12日(日) 曇り

例年妙蓮寺の各檀家に住職が棚経に回るが、住職が新任のため檀家一軒一軒を案内して回った。

13日(月) 晴れ

夕方5時半、住職が梵鐘を打ち、6時から新盆檀家の家族、お婆さん方、総代で、迎え盆の行事を行った。

14日(火) 晴れ

今日は若郷地域が一番賑わうお盆踊りの日。私は、若い衆が「ヤグラ」造りにかかる前の朝6時から、境内の落ち葉を掃き集めた。終りころには準備の若い衆が集まり始め、夕方には盆踊りのヤグラや売店まで整った。

7時から9時までの盆踊りは例年になく賑やかだった。



●青沼 弘

15日(水)

今日は長栄寺で盆祭(大踊り)が催されるので朝から準備にかかる。

途中雨に降られ心配もしたが、夕方には上がり無事開催することができホッとした。

自分は副団長という立場で役についていたが、こちらは無事に果たすことが出来た。

16日(木)～21日(火)

8月1日から民宿を始めており、朝5時から朝食を作り、日中は仕事をし、午後から夕食の支度で買い物をして準備にかかった。

今年は、泊る所がないという観光客が多く見受けられた様に感じた。

●大沼 弘一

22日(水)

台風20号の影響により波風ともに強くなる。大潮と重なることもあ

り羽伏浦の浸食状況が気になり現場を確認する。

満潮まで時間があるが、かなりの波が護岸ブロックに打ち当たり、また回り込んだ波により周辺の崖が削られていくのを確認。



23日(木)

台風20号の直撃は避けられそうだが波風ともに昨日より強い。

羽伏浦海岸の浸食は進み、下水道の放流浸透枳に被害を確認。昨年の21号22号の被害から復旧した直前のことである。行政も頭が痛い。

根本的な解決策を早急に検討させる必要があると痛感する。

24日(金)

台風一過の晴天。メイソングート前の護岸ブロックの破損状況の確認。昨年の21号22号の被害から復旧工事は進んでいないが、被害は一段と拡大している。

メイソングート前には砂浜が無い状況が続く遊泳エリアは200m以上北側に設けられている。不便なせいか遊泳者は皆無である。島の宝である羽伏海岸を何とか守り未来に残せないか思案する。

25日(土)

若郷会館の敷地内から伸びているマツが道路側に倒れそうで危険ではないかとの相談があり、現地を確認し写真を撮る。

台風被害ではなくかなり前からの状況である。倒壊すれば通行者や体育館に被害が及ぶ恐れが懸念される。